

御殿堰 大黒天便り



◆第二二号◆



山形市中心市街を流れる御殿堰。その豊かな水の流れを見守っているのが私「御殿堰大黒天」です。「大黒天便り」では、わたし大黒天が御殿堰の歴史・季節の話題・生活の知恵など「なるほど!」と思っただけの内容をお伝えしていきたいと思っています。今回は第二二号です。

◆季節の流れ◆

新緑爽やかな五月も終わり、六月を迎えました。そろそろさくらんぼの季節の到来ですね。山形県でのさくらんぼ生産量は、全国生産量のおよそ7割を占めています。主な産地は東根市から米沢市にかけての県の東側の地域。東根市は県内一番の産地で、有名な佐藤錦発祥の地でもあります。佐藤錦の他にも紅秋峰・やまがた美人など、さくらんぼにも色々な品種がありますが、皆さんはどの品種が好きですか? 天候・場所・種類によってさくらんぼの生育状況が変動しますので、それぞれのタイミングで美味しいさくらんぼを楽しみたいですね。



◆全国屋台村 B級グルメの祭典◆

「全国屋台村B級ご当地グルメの祭典」が六月八〜九日、山形市七日町の「山形屋台村」ほつとなる横丁二周辺で開催されます。

青森県八戸市の「せんべい汁」や栃木県宇都宮市の「餃子」など、全国屋台連絡協議会加盟の各道県の屋台六店舗が出店。「全国屋台村B級グルメの祭典」は、「ほつ」となる横丁二級九道県一六団体が加盟する「全国屋台村連絡協議会」(八戸市)が年一回の総会を開く都市で毎年開催しているイベントで、今回で四回目になります。

二〇〇九年に加盟した「ほつ」となる横丁二は、昨年の総会予定地でしたが、東日本大震災の復興支援のため、宮城県気仙沼市で代替開催されました。普段は遠くまで出かけないと食べられない名物が「ほつ」となる横丁二に一堂に揃います。

この機会に、是非七日町へ足をお運びください。

◆開催日時◆

六月八日(金)一八時〜二二時
六月九日(土)一六時〜二二時

◆場所◆

山形屋台村ほつとなる横丁二
ほつとなる広場

◆出店情報◆

【宇都宮屋台横丁】
宇都宮餃子

【津軽弘前かだれ横丁】
けの汁・津軽そば・いかめんち

【ふくしま屋台村こらんしょ横丁】
円盤餃子

【かまいしキッチンカープロジェクト】
釜石ラーメン

【八戸屋台村みるく横丁】
八戸せんべい汁・銀さば冷薫

【秋田屋台村たばこ座横丁】
秋田かやき・肉巻タンポ

【帯広北の屋台】
十勝じゃが麺のビビン麺



◆五〇年に一度の御開帳 立石寺(山寺)◆

山寺は正しくは「宝珠山立石寺」といい、貞観二年(八六〇)に清和天皇の勅願によって慈覚大師が開いた天台宗のお寺です。

正面の大きな建物は、国指定重要文化財の根本中堂。平安時代に創建されており、ブナ材の建築としては日本最古とされています。

この根本中堂には、伝教大師が中国から比叡山に移した灯を立石寺に分けた「不滅の法灯」が今も灯されています。織田信長の焼討ちで延暦寺を再建した際には、立石寺の「不滅の法灯」を分けたとされています。

平成二五年は、五〇年に一度の「薬師如来坐像」御開帳となり、その姿を観ることが出来ます。薬師如来坐像は、慈覚大氏が自ら彫り込んだとされています。

立石寺根本中堂の本尊であるこの薬師如来坐像は「古来秘仏」として容易に拝観することができませんでした。研究家たちは室町頃の像と推定していましたが、近年の根本中堂解体修理の際に宝蔵にて調査が行われ、平安時代の薬師如来坐像で、その膝裏に元久二年(一一二〇)八月二八日の修理銘があることが発見されました。

像高一三〇cm、カツラ材の一木造。山形市文化財保護条例が施行され彫刻の部で第1号に指定され、現在は重要文化財となっています。

また、当初この薬師如来坐像とともに造立安置されていた日光・月光菩薩像および十二神将像は、元禄一一年(一六九八)幕府の命により江戸の東叡山寛永寺に移され、それに代る一四像が現在の立石寺像です。

なお、東叡山に移された一四像のうち、日光・月光の両菩薩立像は重要文化財に指定されています。



山形あれこれ ⑰職人町 その二

山形市中央公民館前から東に向かう道があり、今は舗道に星座が埋められて楽しめる通りになっています。百メートル程進むと南に向かう一方通行の道があり、ここから義光公のつくった職人町があります。

最初は檜物町(俗に曲師町と言われることもある)には、曲げわっぱ・おひつ等を作る人たちが住んでいました。檜や杉板をうすく削って曲輪を作り、塗師町へ運んで朱・黒を塗って仕上げます。檜物町の職人の歴史は定かでないようですが、小椋光吉という人が定住するようになってから始まったと伝えられています。小椋姓は木地師・杵人(そまびと)で全国の林野を歩き、義光公時代に定住することが許されたものと考えられています。

幕末の「風流松木枕」によれば「この所より檜物町といい、杓子・手桶・たばこ盆・まげ物をつくる。四六時中鉦・鋸切の音たかく、手早いことに驚いた」という。

檜物町の南には桶町がありました。昭和四〇年頃は佐川・大串・斎藤桶屋などが残っていましたが、現在では昔を偲ぶ石塔が建っているだけとなっています。

山形の気候は杉材をよく育てる環境で、証目の美しい桶が手仕事によって仕上げられました。

「桶町」は最上義光公時代より、最も長く続いた職人町なのでした。

塗師町 材木町 桶町 鍛冶町 伊賀町

次号の発行は七月七日です。来月も皆様と紙面でお会いできるのを楽しみにしています。